

診療科研修コース申請書

研修コース名【診療認定医(II)内分泌代謝内科コース】

- ・ 募集されるコース毎に記入して下さい。
- ・ 貴施設の診療科研修全体のスケジュールを表示する表や模式図を添付して下さい。

1. 診療科(専門領域)

内分泌代謝内科

2. コースの概要

医師臨床研修終了者を対象(限定ではない。例えば内科基礎プログラムのI~IIIを終了あるいは研修中の者、他の研修施設での研修を終了あるいは途中も者の編入も可能)。

- ・ 卒後3~6年目は内科基礎プログラム(総合)と併行して研修。
- ・ 内分泌代謝専門プログラムI~IIの全てを選択。

(本人の意向を研修責任者が聴取し、本人との相談で決定する)

3. 取得資格

国立病院機構による診療認定医(II)資格

内科学会認定医の取得

学会認定の糖尿病認定医の取得も可能

希望により学会認定の腎臓認定医の取得も可能

4. 長期目標

内分泌代謝の専門的知識を習得する。具体的には、

- ・ 内分泌疾患に関する特殊検査の適応判断、実施、結果解釈をできるようにする
- ・ 内分泌疾患の手術適応の判断ができる。
- ・ 糖尿病の診断、病型分類、治療方針決定
- ・ 合併症を発症した糖尿病患者の管理
- ・ 代謝疾患の診断、生活指導、薬物療法の適応判断。

5 . 取得手技

- ・ 甲状腺、副甲状腺超音波検査、甲状腺細胞診
- ・ 種々の内分泌負荷試験

6 . 研修期間

3 年間

7 . 募集人数

2 人

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤2名、非常勤0名

診療科研修の指導にあたる医師2名

主として研修指導にあたる医師の氏名 西村 元伸

〃 診療科経験年数 22 年

10. コンセプト

- ・ 専門領域とその関連領域の系統的な研修で、裾野の広い臨床医を育む
- ・ 施設外との質の高い交流研修を実施し、広い視野で専門性に富む臨床医を育む
- ・ 個々の医師の将来に向けた、柔軟で明確な研修プログラムを用意する
- ・ 糖尿病性腎症が末期腎不全の最多の基礎疾患であることを考慮して、腎不全の病態理解、管理法習得も研修に取り入れる

11. 一般目標

- ・ 関連領域を含む幅広い知識で患者の病態の全貌を把握する
- ・ 関連診療科と必要な協議をして、的確な治療計画を立案する
- ・ 医療安全、患者の人権への配慮、他の職種、患者との意思疎通を図り、安全な医療を実践する。
- ・ 医療の進歩に伴う生涯教育を実践する。

12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修 可能 不可

施設外との交流研修 可能 不可

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人との相談で決定

13. 共通領域研修について

- ・ 全科合同CPC、CCの開催（年3回）
- ・ 臨床レクチャー開催（月1回）